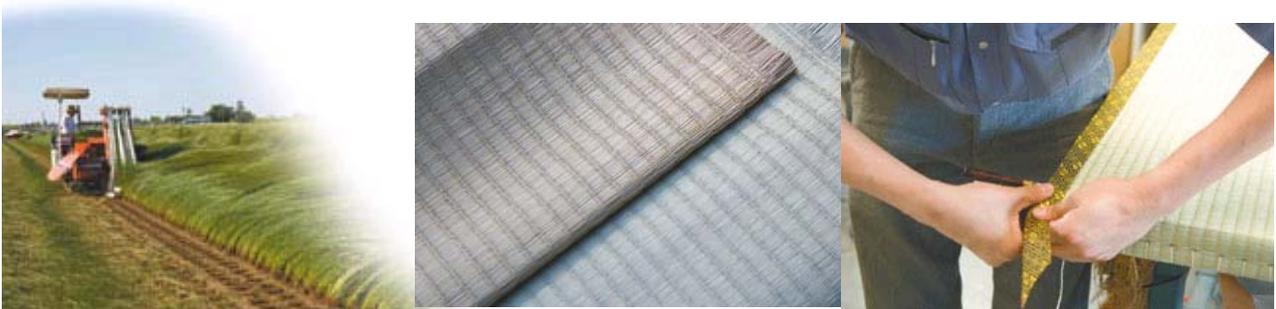




知的資産経営報告書

～私たちが小松畳表の文化を未来につなぎます～

平成二十四年九月



INDEX

1. 知的資産経営報告書の作成目的	1
2. 当社の概要と小松畳表の概要	2
3. セグメント分析と当社の提供価値	4
4. 当社が提供する価値とそれを支える知的資産	6
5. これからの挑戦	8
6. 代表者からのメッセージ	8
7. 作成支援士業コメント	9
8. 知的資産経営報告書とは	10

1. 知的資産経営報告書の作成目的

温厚な気候を好むイグサをあえて雪国の小松で栽培した北限のイグサ「小松イグサ」、そしてそのイグサを畳表とした「小松畳表」。

小松畳表の良さをそして畳そのものの温かみをもっと全国の方にもっと知ってもらいたいそんな思いで本報告書の作成を行いました。

また、小松畳表をもっと全国に広めるためには、全国の畳店との提携が不可欠です。この報告書を通じて、全国の畳店に「小松イグサ」や「小松畳表」の取組を知っていただくことも目的としております。



2. 当社の概要と小松畳表の概要

■ 経営理念

われわれは顧客から信用・信頼され、満足の出来る質の高い暮らしを提供し、日本住宅の伝統を守る。

■ 当社の特長

● 小松イグサの良さをとことん伝える

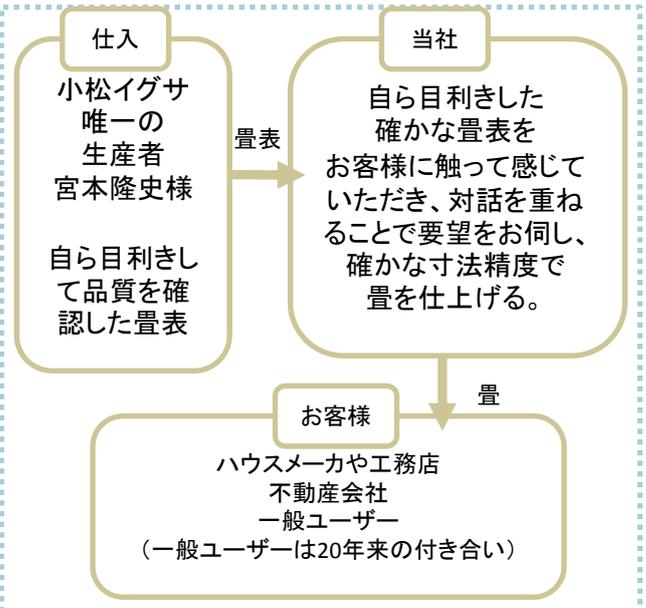
小松イグサは、イグサの表皮が強靱で丈夫、畳表の変色が少なく、独特の光沢を帯びていることが特徴である。小松イグサは他産地にはない良い特徴を持つものの、その良さをお客様に伝えることは容易ではない。

当社は、お客様との対話の中で、小松イグサと他産地イグサの違い(品質・生産者の思い)をお客様に十分に説明すること、常に他産地のイグサと小松イグサのサンプルを持ち歩き、目で見て触って感じていただくことなど小松イグサの良さをとことん伝えることを大切にしている。

● 畳表の目利き力と仕入先との直取引

初代、2代目から受け継がれた畳表の目利き力を背景に、畳表生産者との信頼関係を形成し、通常は市場や問屋を通じて仕入を行う畳表を直接仕入れている。

■ 当社のビジネスモデル



■ 企業概要

【代表者】 島内 智唱(ともあき)
 【住所】 石川県小松市串町南6
 【業種】 畳製造業
 【従業員数】 10名
 【URL】 <http://tatami-ya.net/>

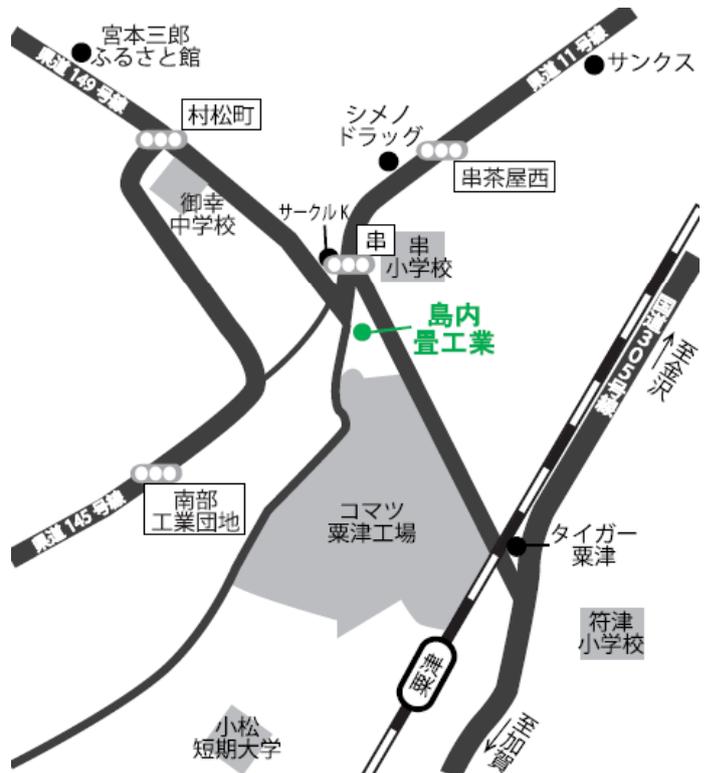
■ 沿革

1945年 代表の祖父が島内畳店として創業
 1979年 代表の父(島内栄氏)に承継
 1990年 名称を島内畳工業に変更
 石川県でもっとも早くコンピューター製造設備を導入
 2002年 島内智唱(3代目)に承継
 2010年 置きたたみ用設備導入
 2012年 知的資産経営報告書を作成
 「加賀小松表置き畳」が石川ブランドに認定

■ 連絡先

TEL : 0761-44-2043
 FAX : 0761-44-4055
 E-Mail : info@tatami-ya.net
 担当者 : 島内智唱

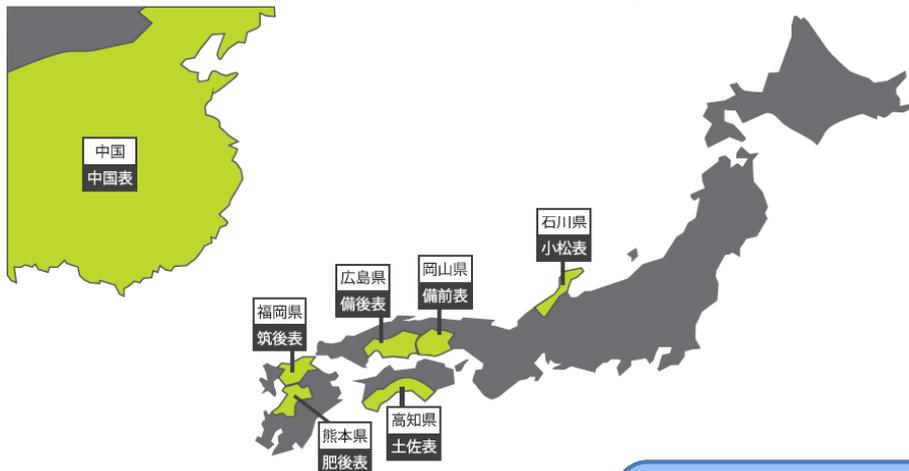
■ アクセス



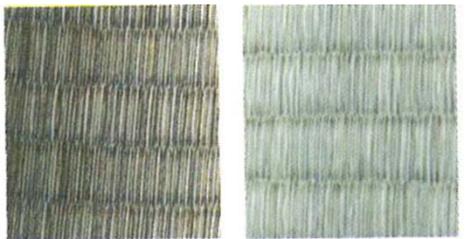
■ 北限のイグサ産地「小松イグサ」

イグサの主要産地は西日本である。小松はイグサ栽培の北限に位置し、雪国のイグサとして独特の存在感を放っている。通常イグサは2毛作で作られるが、小松はイグサの茎が硬く成長するのをじっくりと待ち、真夏に一度だけ刈り取る。このため、小松イグサは、他産地に比べ、表皮が硬く、輝きがあり、摩耗しにくい畳表になる特徴がある。

さらに、小松畳表は畳1枚当たり5千本以上（普及品は4.5千本）のイグサを使って織り込むため、厚くてきめ細やかな畳表に仕上がる。昔ながらの天然泥染めを行っていることも特長である。



「畳表」の原料となるイグサは、西日本で多く栽培されている（熊本、福岡、広島等）。
 ・小松のイグサ栽培は日本の北限となり、雪国育ちのイグサで織られた「小松畳表」は、丈夫で美しい高級品として、県内外から高い評価を得ている。



・小松畳表は畳一枚あたり5千本以上のイグサを使って織り込むため、厚くてきめ細やかな畳表に仕上がる。

図 左 中国イグサ産の畳 右 小松イグサの畳

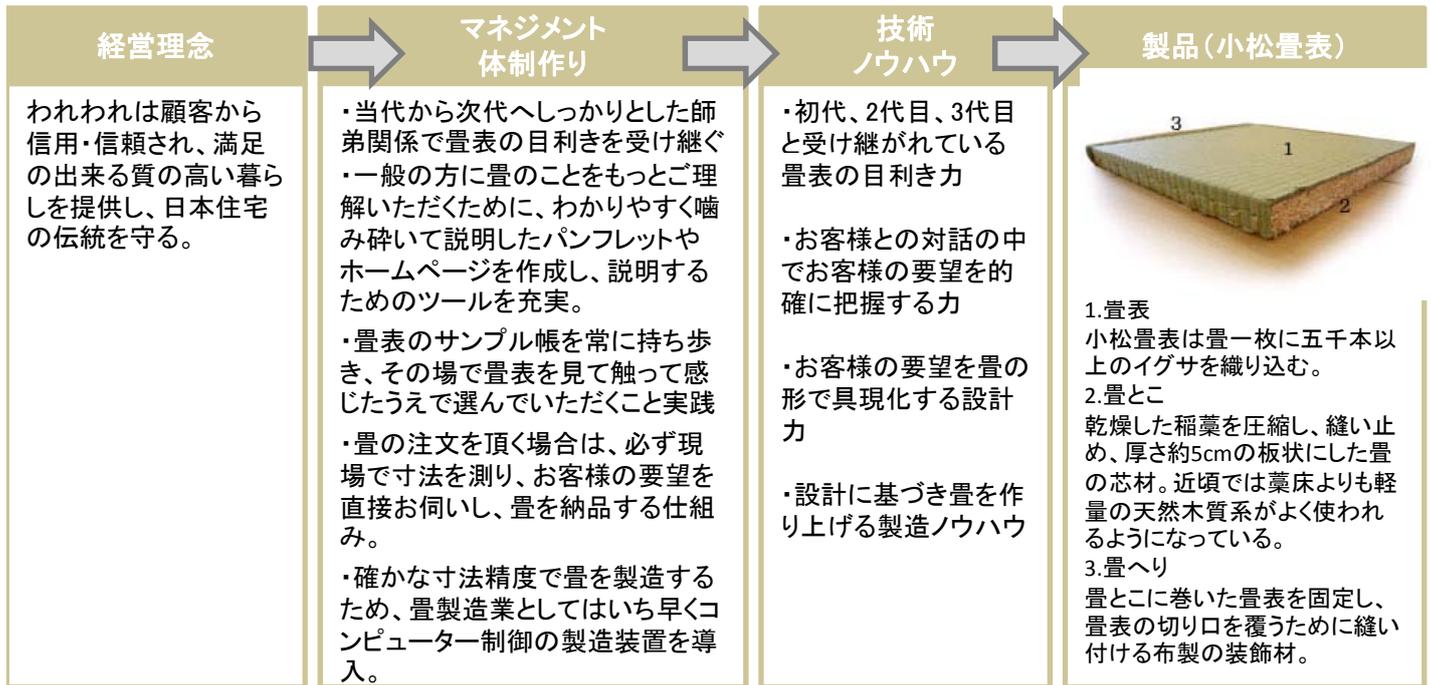
小松イグサの出荷量は日本全国の中で見れば、わずかであり、まさしく知る人ぞ知るイグサとなっている状況である。

一方で、畳の市場は全体的に縮小しており、当然に小松イグサもその影響を受けている。その結果、栽培農家は最盛期（昭和30年）には1395戸、昭和59年には97戸、平成13年には18戸、平成23年には「わずか1〜2戸」となり、作付面積も最盛期の300haから0.8haへと大幅に減少している状況である。

また、小松市内での畳店も現在では、13社程度となり、畳産業自体が縮小している状況である。

ランク	上記Q1(色調)		上記Q2(耐久性)		上記Q3(粒揃い)
	退色後の色調 (黒筋の混入)	イ草の長さ	織り込み密度 (一枚当りの本数)	実の充実 (断面図拡大写真)	根元の色 (根元拡大)
最上級品(久〜万)		140cm ★★★★★★	7,000本 ★★★★★★		
上級品(茂〜登)		130cm ★★★★★	6,000本 ★★★★★		
中級品(比〜喜)		120cm ★★★★	5,000本 ★★★★		
普及品(花〜桜)		115cm ★★★	4,500本 ★★★		
下級品(A〜C)		110cm ★★	4,000本 ★		

3. セグメント分析*と当社の提供価値



*企業の一連の事業活動は会社の基本となる経営理念や方針のもと会社のマネジメントを経て、技術・ノウハウやネットワークを構築することで特徴あるサービス・製品を提供しています。それを4つのセグメント(切り口)に分類して分析するものです(出典 中森孝文著「無形の強みの活かし方」より)。

■ 当社の提供価値

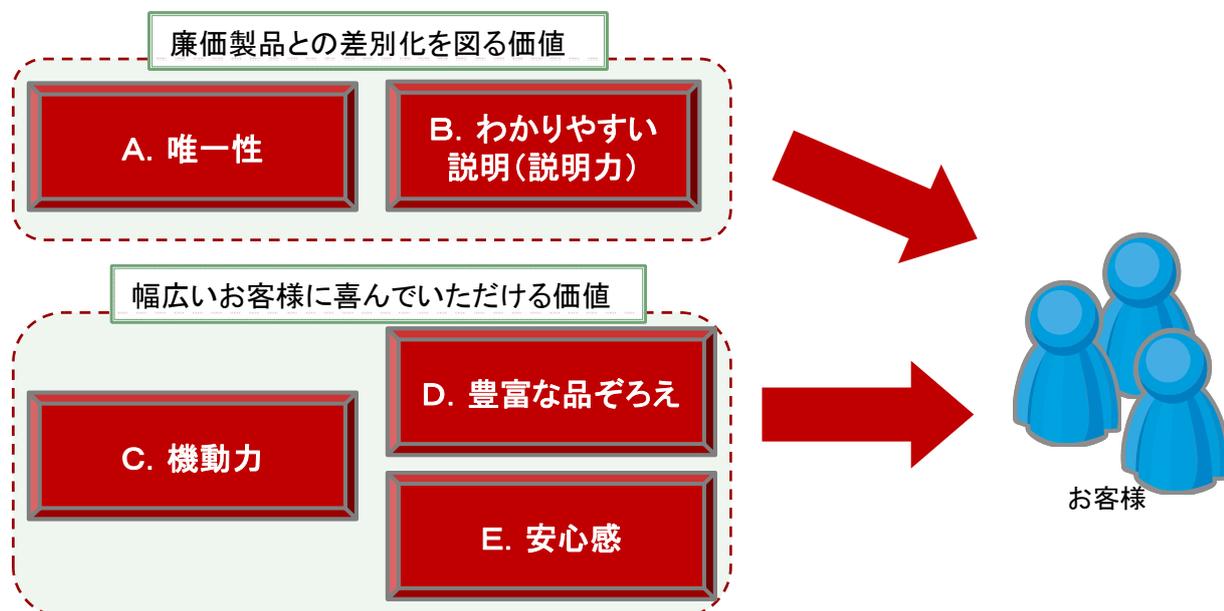
ここでは「島内畳工業」がお客様に提供している価値を説明する。本報告書でいう価値とは、お客様が当社に対して魅力として感じていただいていることであり、当社はその価値を提供しているがためにお客様からの支持をいただいているということがいえる。

ここでいう価値は、当社の事業コンセプト、ビジネスモデル(事業)、知的資産、有形固定資産がそれぞれに作用しあって複合的に作り出されている。本報告書では、その過程を価値創造のストーリーと呼ぶ。

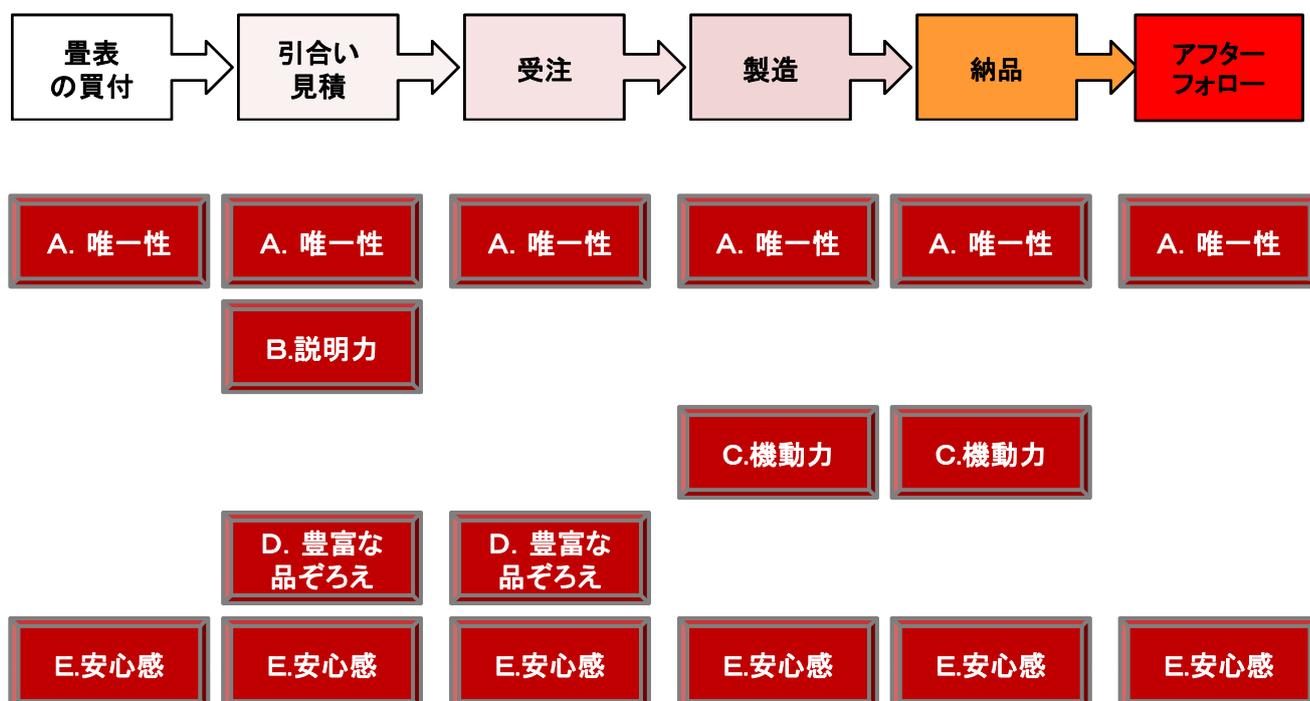
当社がお客様に提供している価値は以下の5種類と考えられる。

No	価値	価値の説明
A	唯一性	当社は、小松地域で唯一小松畳表を積極的に展開している畳店である。また、お客様と対話を重ねることでお客様の要望をお伺いし、そのお部屋に適した畳を提供している。
B	わかりやすい説明(説明力)	当社は、ホームページやパンフレットなど畳をわかりやすく説明するツールや畳表のサンプル帳等を活用し、畳の説明を行っている。また、業界に先駆けて価格を明示している。その結果、他店ではなかなか売りにくい小松畳表もわかりやすく十分に説明することで品薄状態になっている。
C	機動力	当社は、充実した生産設備や豊富な人材により、家具の無料移動(畳を変えるためには家具の移動が必要)・即日対応などの迅速な対応を提供している。
D	豊富な品ぞろえ	当社は、現代表を中心に置き畳やヘリなし畳等様々な企画開発を行い、その企画開発に製造が対応することにより、豊富な品ぞろえを確保している。
E	安心感	当社をご利用いただいたお客様が、当社の畳にご満足頂くと、お客様からお客様へ良い評判が伝わる。この積み重ねがお客様に安心感を与えている。

また、この5つの価値を「廉価製品との差別化を図る価値」と「幅広いお客様に喜んでいただける価値」の2つに分類すると以下のように考えられる。



■ 当社の業務流れと影響する価値について



■ 他社と差別化ができ顧客の評価につながっている取組

業務の流れ	他社と差別化でき顧客の評価につながっている取組
① 畳表の買付	イグサは、その年の天候で当然に品質が異なる。しかし、当社は畳メーカーとして当然に品質は安定させなくてはならない。その品質の安定こそが、畳のブランド化にもつながる。当社は、産地問屋や生産者を開拓し、この考え方に共感いただける方とのみ取引を行っている。
② 引合い見積	これまで価格を明示してこなかった業界の中でいち早く「明朗価格制」を導入。
③ 受注	必ず担当者が現場で採寸し、正確な寸法を把握。
④ 製造	③で把握した寸法を機械化された製造設備で精度よく製造を行う。
⑤ 納品	当社は、同業他社と比べ、遊びのない寸法で畳を製造している。当社基準に合わない場合は、修正を行う。
⑥ アフターフォロー	礼状の送付、天日干しサービスの提供(即日対応可)、HPやブログ、Facebook等のツールを利用した畳に関する情報の提供

4. 当社が提供する価値とそれを支える知的資産

■ 当社の知的資産

知的資産とは、「従来のバランスシート上に記載されている資産以外の無形の資産であり、企業における競争力の源泉である、人材、技術、技能、知的財産（特許・ブランド等）、組織力、経営理念、顧客とのネットワーク等、財務諸表には表れてこない目に見えにくい経営資源の総称」（独立行政法人中小企業基盤整備機構）を指す。

企業は自社の知的資産を連鎖的に活用して価値を創り、それを顧客に提供して利益を上げている。それゆえ、知的資産は価値創造のストーリーを形成する要素ともいうことができる。

ここでは、知的資産を

1. 人的資産（属人的であり、従業員が退職時に一緒に持ち出す資産）
2. 構造資産（従業員が退職しても企業内に残り、組織に組み込まれた資産）
3. 関係資産（企業の対外的関係に付随したすべての資産）

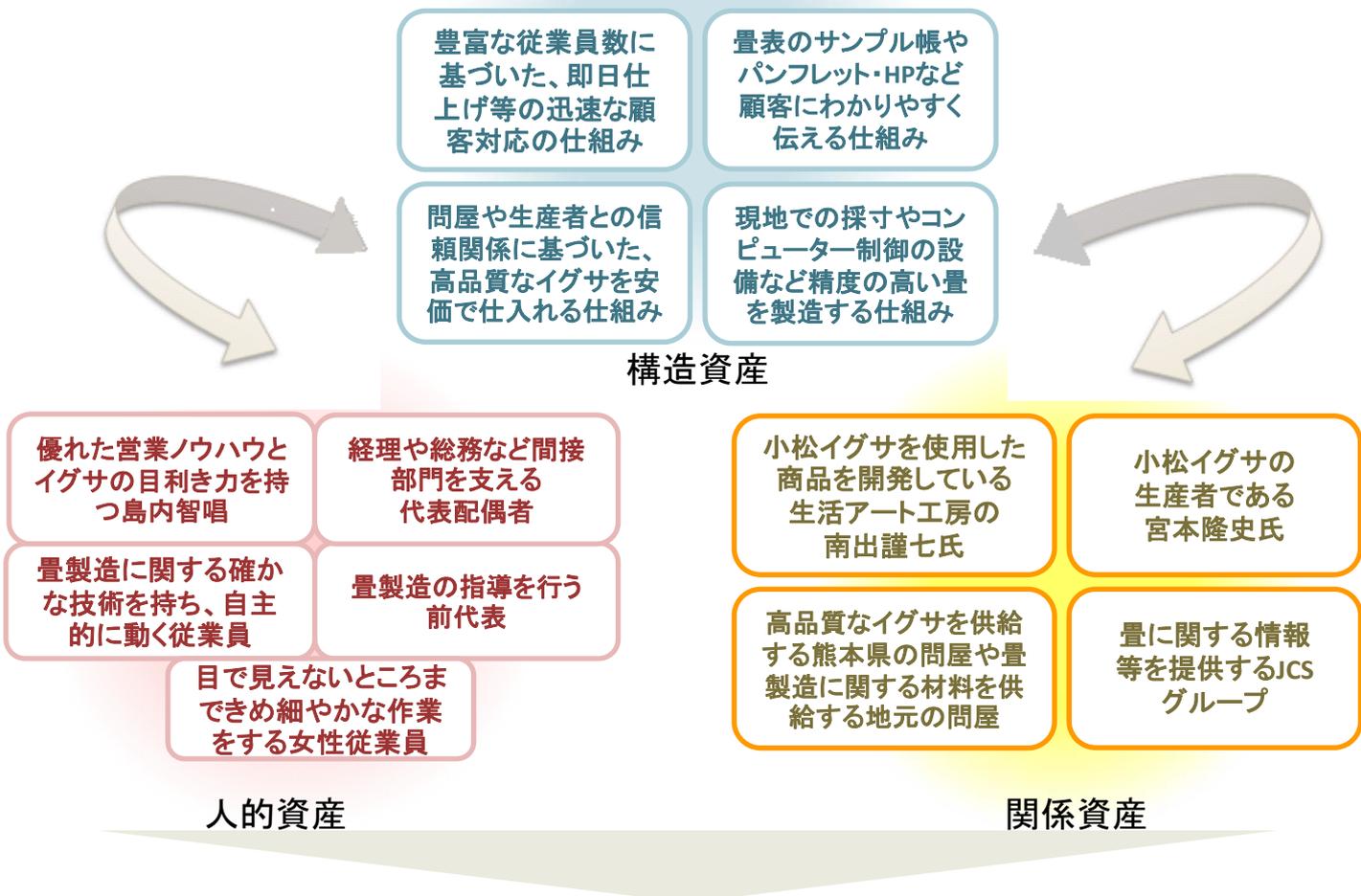
に分類して紹介する。

次ページには、当社が提供している価値とその価値を支える知的資産の関連を表にして示す。

■ 当社の強み(価値)はどのように形成されたの？(過去から現在の価値創造のストーリー)

安心感	機械化がなされた生産工程	
<p>通常の畳店では、顧客との信頼関係に基づいた言い値による価格設定が多く見られる。 当社では業界に先駆けて、明朗会計制の導入や畳表のサンプル帳の作成を行っている。 また、お客様に安心いただけるようチラシやHPに当社従業員の顔写真を掲載の上、マナー教育を実施している。 さらに、女性従業員を中心に、目で見えないところも丁寧な作業(右写真)を行うなど、ご購入いただいた後に安心感を得られるよう随時工夫を行っている。</p> 	<p>当社ではコの字型の生産ラインの整備や積極的な設備導入による機械化など、より効率的に畳を製造する工夫を重ねてきた。 これにより、当社では女性でも畳の製造が可能である。 また、当社ではへりあり畳とへりなし畳の生産現場(右上:へりあり畳の製造機械、右下:へりなし畳の製造機械)を明確に分けることにより、質の高い畳製造が可能となっている。</p>	

■ 当社の強み(価値)はどのような人や仕組みで支えられているの？



【提供する価値】

- A. 唯一性
- B. 説明力
- C. 機動力
- D. 豊富な品ぞろえ
- E. 安心感

5. これからの挑戦

■ 当社は常に進化します。(未来の価値創造のストーリー)

畳についてさらにわかりやすく伝える

当社では現在、畳のサンプル帳を持参し、実際に感触等を確認してもらうことで製品に関する不安を少しでも解消できるようにしています。

今後は見積りの際に、実際に納品した場合のイメージ写真を提供するなど、さらなる安心感の提供に努めます。

また、「畳の取扱説明書」の提供や、アフターサービスの充実により、これまで以上に長く当社の畳を利用していただけるよう努めます。

小松畳表のブランド化

小松畳表の材料である小松イグサは、表皮が丈夫で変色が少なく、独特の光沢を帯びている等の他産地のイグサにはない特長を持っています。しかし一方で、小松イグサの生産者は現在宮本隆史氏ただ一人であり、小松畳表を積極的に扱う畳製造業者も限られています。

当社は小松イグサ及び小松畳表の名称やその品質の高さを日本や世界に伝えるべく、小松畳表のブランド化に努めます。

次世代への継承

畳文化は日本の古来からの伝統ですが、現在畳に対する需要は減少傾向で、畳製造業者も減少しております。また、畳の材料であるイグサの生産農家やイグサの作付面積も同じく減少しております。

当社では、今後も畳文化の維持・発展に貢献し、また小松畳表の名を日本や世界に広めていけるよう、後継者の育成に取り組んでまいります。

6. ～代表者からのメッセージ～



石川県小松市にて生まれる
茨城県畳職業訓練校にて特殊畳の設計製造を学んだ後、金沢市の内装業でルート営業に従事する。
当社に入社以降は、父に師事し、畳の基礎を学ぶ。
一級畳製作技能士
金沢職人大学修了

日本で最北端の畳表の産地である石川県小松市で地元の小松表を使用し、畳の製造販売をしています。

イグサと稲藁でできた本物の畳。足腰に負担をかけない適度なやわらかさや、調湿・断熱・吸音性などの加減の良さは、自然素材ならではの日本人の肌にやさしい敷物です。当店では、地元の小松表を中心に畳づくりを行っています。中国産が国内の畳表の80%を占めているという現状の中で、一番肌に触れる畳だからこそ、地元の良質な材料を使うことにこだわり続けたいのです。

100%自然素材の小松イグサが、緑のダイヤモンドと呼ばれ、世界中の人からその価値を認められる日が来ることを、私たちは信じています。そのため、本物の畳を作ることができる人材の育成を図るとともにその人が快適に仕事ができる職場環境(女性でも作業ができるように適切に設備投資を行う)を整えていきます。

『島内たたみ店』は、これまでお世話になった皆様へ感謝し、これからも信用信頼を大切に快適な空間づくりをご提案させていただきます。

7. 作成支援士業コメント

中小企業診断士 西井克己

「畳製造は差別化しにくい」島内代表からの言葉で最も印象に残っている言葉です。島内代表は、差別化しにくい業界だからこそ、差別化に向けたいろいろな取り組みを実施していらっしゃいます。

具体的には、小松表を用いた畳の製造、明朗会計制の導入、即日対応等、目で見えるものから、女性でも畳の製造ができるよう業界に先駆けての設備導入、コの字型の工場レイアウト、サンプルやパンフレットを用い、対話を積み重ねることでお客様の要望を詳細に伺う取り組み、従業員に職長教育やマナー教育を実施する等目で見えにくいものまで多岐にわたっています。

この取組で共通することは、他の業界では当たり前に取り組んでいることを、当社が業界に先駆けて取り組んでいることです。

これも、お客様の玄関先で商談するのではなく、家に上がって商談をする畳屋だからこそその取り組みといえます。当たり前のことを当たり前に進める。時間はかかるように思えますが、お客様の安心感・信頼を獲得するのに最も適切な取り組みではないでしょうか？そしてこの取組こそ島内たたみ店の知的資産であるといえます。貴社がこの報告書で明らかとなった知的資産を大事にし、お客様に安心感を与え続け、次代にこの思いを継承されることを期待します。

行政書士 勝尾 太一

小松畳表は、それ自体、他の畳業者が決して真似できない「唯一性」という強みを有しております。この「唯一性」を維持し・強化することが今後の島内畳工業のテーマとなってくると考えます。トップランナーであり、未だ追随する者がいないという状況にあっては、自社に存在する知的資産の一つ一つを丁寧に拾い上げ、見直すことが何より重要になります。

今の島内畳工業には、人的資産、構造資産、関係資産がバランス良くコンパクトに存在しております。これらを強化し拡大して行くためには、既に存在する施工台帳など日々作成し保存する記録を積極的に活用すること、記録すべき事項(記載項目)の見直しなどが効果的と考えます。トップランナーであり、追随する者がいない状況の中では、比較すべき対象、自らを写す鏡は自社に他ならず、今の有り様をできるだけ広範に記録に残すことが、将来に向けた知的資産の強化に大きく寄与するからです。畳業界全体が収縮しているとはいえ、更なる事業の拡大に向け、三代にわたり受け継がれ育んできた技と日本住宅の伝統を守るという理念をもって力強く前進されることを期待いたします。

弁理士 横井 敏弘

島内たたみ店(以下、当社)は、小松イグサの良さを活用して、唯一性の高い製品を製造し販売しております。この唯一性は、品質の高い小松イグサの仕入れルートや加工機械によって担保されているだけでなく、小松イグサの品質や特性に対する深い理解や、これらの特性を活かすことができる場の開拓力によっても支えられております。

また、当社製品及びこれに用いられる小松イグサの良さを発信していくために様々な取り組みをしております。今後は、周囲の人々を巻き込んで、これまでの取組みをより大きなものにし、発信力を高めてもらいたいと思います。その際に、「小松イグサ」という商標は、関係者や地域で共に掲げることができる地域ブランドとなりえます。是非、有効にご活用下さい。一方で、当社にしかできない製品や提案、当社のこだわりは、当社独自のブランドで発信していくことも必要になると考えます。一步一步着実に、確かな成長を遂げられることを期待しております。

8. 知的資産経営報告書とは

【意義】

「知的資産」とは、従来のバランスシートに記載されている資産以外の無形の資産であり、企業における競争力の源泉である人材、技術、技能、知的財産(特許・ブランドなど)、組織力、経営理念、顧客とネットワークなど、財務諸表には表れてこない、目に見えにくい経営資源、すなわち非財務情報を、債権者、株主、顧客、従業員といったステークホルダー(利害関係者)に対し、「知的資産」を活用した企業価値向上に向けた活動(価値創造戦略)として目に見える形で分かりやすく伝え、企業の将来に関する認識の共有化を図ることを目的に作成する書類です。経済産業省から平成17年10月に「知的資産経営の開示ガイドライン」が公表されており、本報告書は原則としてこれに準拠して作成いたしております。

知的資産のイメージ



【注意事項】

本知的資産経営報告書に掲載しております将来の経営戦略及び事業計画並びに附随する事業見込みなどは、すべて現在入手可能な情報をもとに、弊社の判断にて記載しております。そのため、将来に亘る弊社を取り巻く経営環境(内部環境及び外部環境)の変化によって、これらの記載する内容などを変更する必要を生じることもあり、その際には、本報告書の内容が将来実施又は実現する内容と異なる可能性もあります。よって、本報告書に記載した内容や数値などを、弊社が将来に亘って保証するものではないことを、充分にご了承願います。